

## 発 言 通 告 書

発言者氏名	本石篤志
発言の会議	令和6年 8月29日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

### 【件名及び発言の要旨】

#### 1 本市における公設放課後児童クラブの入会をはじめとする各種 手続のオンライン化について

- (1) 本市における放課後児童クラブの担当課の事務量の状況について
- (2) 本市において公設放課後児童クラブが令和6年度に合計4か所開設される中、利用を希望する保護者の利便性を向上させるため、スマートフォンにて同クラブの入会をはじめとする各種手続が可能となるオンライン化を実現することに関する市長の所見について

#### 2 本市高齢者のデジタルディバイド対策としてのスマートフォン 利用に関する講師派遣について

- (1) 令和5年度に各地域のコミュニティセンターにおいて開催したデジタル活用支援講習会「かんたんスマホ教室」の効果に関する市長の評価について
- (2) 今後デジタル庁が行政手続におけるマイナンバー利用の推進を図り、市内高齢者の方々からもスマートフォン利用に関する

問合せがある中、本市における高齢者のデジタルディバイド対策として、横須賀市老人クラブ連合会や町内会等の要請に応じてスマートフォン利用に関する講師を派遣する仕組みを検討することに対する市長の所見について

### **3 成年後見人等への送付先変更届の書式統一と窓口ワンストップサービスの実現について**

- (1) 本市における成年後見人等への送付先変更手続の現状に関する市長の所見について
- (2) 市から送付する被後見人等への通知書等の送付先を成年後見人等へ変更する際の複数の手続について、書式を統一して一つの窓口でまとめて届け出ることを可能とした窓口ワンストップサービスを実現することに対する市長の所見について

### **4 本市における業務特化型大規模言語モデル導入の可能性について**

- (1) 現時点における本市の全庁的なChatGPT活用に関する市長の評価について
- (2) 今後、セキュアな環境で日本語性能が最適かつ行政実務の情報を学習した業務特化型大規模言語モデルが開発された場合の、本市への将来的な導入の可能性に関する市長の所見について